

〔 栃木県農地・水保全管理支払交付金通信 〕

編集・発行 栃木県農地・水・環境保全向上対策推進協議会 〒321-0901 宇都宮市平出町 1260 水土里ネットとちぎ

TEL : 028-660-5702 FAX:028-660-5711 E-mail : kaiinshien@tcgdoren.or.jp URL: http://www.tcnouchimizu.net/

向上活動支援交付金について

平成23年度の実績状況

老朽化した農業用水路・農道などの施設の長寿命化対策として平成23年度から導入された向上活動支援交付金については、18市町、109地区で取り組まれています。

対象となる農用地				対象施設			左記のうち補修・更新等を行う施設		
合計(a)	田(a)	畑(a)	草地(a)	水路(km)	農道(km)	ため池(箇所)	水路(km)	農道(km)	ため池(箇所)
651,610	576,117	75,428	65	1,425	1,020	57	198	41	10

自主施工するにあたって

各地域では、これから向上活動が本格的に実施されることと見られます。そこで、自主施工する際の工事管理（マネジメント）のポイントをまとめましたので、参考にしてください。

●工程管理

- ・交付金は毎年度精算する必要がある（翌年度繰り越しができない）ので、資材・重機等の手配や行程表（作業スケジュール）の検討の際は十分注意しましょう。
- ・施工時は行程表と作業の進捗状況とを比較検討し、作業に遅れないように管理しましょう。

●品質管理

- ・資材等の品質は、カタログや試験成績表等で確認・整理しておきましょう。

●安全管理

- ・活動参加者の不測の事故や他人にケガを負わせたり、物を壊した場合に対応するため、傷害保険や損害賠償責任保険に加入しましょう。
- ・当日の作業内容や手順を活動参加者に十分周知しましょう。
- ・気のゆるみが事故につながりますので、常に気持ちを引き締めて作業を行うよう心掛けましょう。
- ・施工時はヘルメットを着用させるなど、活動参加者の安全に配慮しましょう。



●出来形管理

- ・各施設の機能に着目した管理を行いましょう。（例：土水路などへのコンクリート水路の布設の際は、逆勾配とならないこと、中弛みを生じないこと、漏水が生じないように目地処理を確実にすること。）
- ・詳細な出来形管理基準については、施設管理者に事前に確認しましょう。

共同活動支援交付金について

平成19年度から導入された共同活動支援交付金については、今年度が最終年度となっています。そこで、本年3月までの活動実施及び会計経理に係る留意点をまとめましたので、必ず確認してください。

●活動上の主な留意点

以下の項目が適切に実施されていない場合、要件未達成等になり、交付金の全額又は一部返還になる可能性がありますので、十分注意してください。

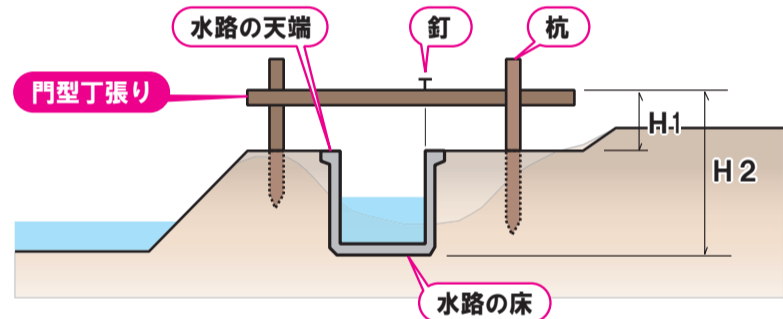
- ・協定エリア内（交付金対象面積）に、農地転用等になった面積が含まれていないか確認しましょう。
- ・協定に位置付けられた遊休農地が耕作可能な状態に保全管理されているか確認しましょう。
- ・施設の機能診断結果について、記録が整理されているか確認しましょう。今後の保全活動を検討する上で重要な資料になります。
- ・施設の機能診断の結果、活動が不要とした項目がある場合は、その判断根拠を明確におきましょう。

向上活動成功のポイント！

「丁張り（ちょうはり）」とは？

どんな工事を行う場合でも、最初の作業は現地にて「丁張り」というものを設置します。これは、構造物がどの位置に、どのような高さで、どのような形ででき上がるのかを示す、仮設の立体的な目印のことで、完成後のイメージを把握することができます。

丁張りの設置方法はいくつかありますが、今回は「門型丁張り」というものを紹介します。この丁張りは、水路等の布設や小型構造物などをつくる際に使用される方法です。



丁張りのH1下がり高さが水路の天端、H2下がり高さが床掘りの仕上がりです。そして、丁張りの水路内面に釘を打ち、目印とします。丁張り間の釘と釘を水系で繋げば水路の通り具合を確認することができます。丁張り間隔は、20m～50mに1箇所程度設置します。

●会計経理上の主な留意点

- ・交付金の消的な支出や平成24年度以降の活動に向けた支出はやめましょう。（大型機械や高額な物品等の購入など）
- ・交付金に係る書類は、活動終了から5年間保管する必要があります。特に、領収書等感熱紙を使用しているものは、コピーするなどして適切な保管に努めましょう。
- ・平成23年度末に交付金残額が生じた場合は、県協議会に返還することになるので、年度末の支出は早めに済ませましょう。同様に、傷害保険の精算等で返戻金がある場合は、年度内に返戻の手続きを済ませる必要があります。なお、交付金残額の具体的な返還方法については、あらためてお知らせします。

返還金の種類

返還金は、大きく分けて2種類あります。
一つは、①農地転用による交付金対象面積の減に伴う返還です。協定エリア内で農地の転用があった場合は、**採択変更承認申請の手続きが必要**ですので、市町担当部署へお問い合わせください。
二つめは、②交付金の執行残金です。
①②いずれの返還も、協議会からの「**返還に関する案内**」に従ってください。①の返還は年度内、②の返還は平成24年度になります。

「田んぼまわりの生きもの調査インストラクター養成講座」を開催しました！

地域自らが充実した生きもの調査等に取り組めるよう促進するため「田んぼまわりの生きもの調査インストラクター養成講座」（計3回の連続講座、参加者31名）を開催しました。

本年度で2年目となる講座は、ワークショップや発表を行うなど“受講者参加型”とし、地域ですぐに活用できる内容としました。

第1回（8月19日）・第2回（10月12日）の講座では、実際に水路等に入って環境点検や生きもの調査を行い、生きもの同定や解説を受講者全員が実践しました。第3回講座（12月9日）では、環境点検・生きもの調査で得られたデータを基にワークショップを行い、班毎に生きものマップづくりや発表を行いました。受講者の方々の今後のご活躍を期待しております。



生きもの調査の様子



生きもの解説（実践）の様子



生きものマップづくりの様子

本講座の中で受講者に出題した問題の一部を紹介します。

皆さんは、分かりますか？

Q1 ドジョウ、ホトケジョウ、シマドジョウはそれぞれヒゲの数が違います。何本だと思いますか？



ドジョウ・・・()本

ホトケジョウ・・・()本

シマドジョウ・・・()本

Q2 下の写真は、何ていう魚でしょうか？一方は絶滅危惧種（県Bランク）、もう一方は特定外来生物です。

ヒント！

大きな違いは、♀関係なく尻ビシの付け根の長さです！希少種は長い～



(種名①:)



(種名②:)

トピックス

活動組織からの声

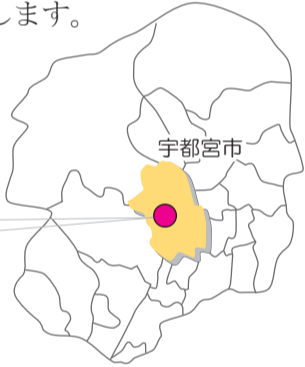
共同活動を通じて、県内各地域で様々な取組が展開されています。そこで、活動組織間の情報共有と組織運営の充実に役立てていただくため、地域の取組成果やこれまでの苦労話、今後の抱負などを「活動組織からの声」と題して紹介します。

今回は、宇都宮市の姿川環境保全会を紹介します。

姿川環境保全会

対象となる農村資源	協定農用地	対象農用地
田	4,912a	4,912a
畑	143a	143a
草地	-a	-a
計	5,055a	5,055a

農業用施設	
開水路	8.9km
パイプライン	-km
ため池	1箇所
農道	5.1km



◆地域住民との輪を広げ、多様な生きものとの共生を目指す

姿川環境保全会 事務局長 佐藤 光一 さん

当会は、生きもの調査をベースに「姿川地区まちづくり協議会」に参加して活動するなど、地域住民等との交流に力を入れています。活動内容は、保全会だより（27号まで発行）にまとめ、だよりを見れば活動の全て分かるほどです。当初は、カメラもパソコンも初心者でしたが、今ではプロ顔負けのカメラマンがいるほどです。これも、H20に開催された「生きものフォーラム」のプレゼンテーションが全ての始まりでした！

現在「生きもの調査H19～23」の成果として、「姿川田んぼまわりの生きもの図鑑」の出版を計画しています。

また、有志では国の環境保全型農業直接支援対策に取り組んでいます。今後は、これまでの経験を活かし、さらに地域住民との輪を広げ、多様な生きものとの共生を考えた営農活動を展開していきたいと思ひます。

ところで、当会の鈴木会長は、平成23年は16品種の米づくりに挑戦しました。



た。11月下旬、ようやく稲刈りが完了しました！

農地・水保全管理支払交付金に係るイベント情報

田んぼまわりの生きものマップ作品展

県協議会では、多くの県民の方々に、本県の豊かな農村環境を知っていただくとともに、保全活動への積極的な参画を促進するため、「田んぼまわりの生きものマップ作品展」を県内4会場で開催しました。会場では、子供達の手作りマップを微笑みながら見る人の姿や、水田魚道の取組を描いたマップに関心を寄せる人の姿もみられました。

また、マップの人気投票も行い、投票結果は県協議会HP等でお知らせいたします！



イオンモール小山店の展示の様子（115作品を展示）

- H23.12/1～7 ろまんちっく村（宇都宮市）
- H23.12/14～19 イオン小山店（小山市）
- H23.12/20～21 道の駅 思川（小山市）
- H24.1/5～11 ザ・ビッグエクストラ那須塩原店（那須塩原市）

グレードアップ推進講座の開催

農地・水保全管理支払交付金に係る取組事例を紹介するとともに、施設の長寿命化に向けた施工技術・安全対策についての研修会を開催します。また、平成24年度の農地・水保全管理支払交付金及び環境保全型農業直接支援対策の説明も併せて行いますので、是非ご参加ください。

日時：平成24年1月25日（木）13:30～
場所：矢板市文化会館大ホール（矢板市矢板103-1）

問題の答え Q1：ドジョウ10本、ホトケジョウ8本、シマドジョウ6本
Q2：①メダカ（絶滅危惧種）、②カダヤシ（特定外来生物）